

学習・教育到達目標を達成するために必要な授業科目の流れ(ロボット)

学習・教育到達目標	JAB EE 基準	授業科目名				授業科目名					
		本科1年		本科2年		本科3年		本科4年		本科5年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
A 学習力	①計画 ②実施 ③評価改善 ④継続 g◎							課題研究(○)			
								ゼミナール(◎)			
B コミュニケーション力	②協働力 i◎							インターンシップ(○)集中講義			
		保健体育 I		保健体育 II		保健体育 III		保健体育 IV(◎)注5*5			
		国語 I		国語 II		国語 III		日本語表現法 I(◎)	日本語表現法 III(◎)		
								実用英語(○)	日本語演習(○)		
		英語 I	基礎英語演習 I	英語 II	基礎英語演習 II	英語 III		英語 IV(◎)	英語特論(○)		英語 V(◎)
C 人間性・社会性	①社会に対する技術者の役割を考える力 ③さまざまな視点から物事を考える力 a◎ b◎	地理歴史 I		地理歴史 II		歴史学 I ACP		地理学(○) ACP			
				公民 I		公民 II		キャリアデザイン(○) ACP		経営学 II(○) ACP	
		芸術				経済学 ACP		基盤文化(○)		表象文化 II(○)	
	②技術者倫理 b◎					倫理学 ACP		心理学(○) ACP		技術者倫理(5) ◎注4	
D 基礎力	①数学力 c◎	基礎数学 I		微積分		解析学基礎		数学特論 I(○)			
		基礎数学 II		線形代数 I		線形代数 II		数学演習(○)		数学特論 II(○) ACP	
	②自然科学力 c◎	物理 I		物理 II		物理 III	応用物理 I	応用物理 II(4) ◎注4			
		化学 I		化学 II		化学特論 I	化学特論 II	工業化学概論(3) ◎注4			
E 応用力・実践力	③専門的な基礎力 d◎	基礎電気工学	電気回路 I		電子回路 I	電子回路 II			過渡現象論(1) ◎注4		
		情報リテラシー	プログラミング基礎		情報処理 I	情報処理 II			デジタル信号処理(○)		
		ものづくり実験実習							数値解析 I(2) ◎注4		
		基礎製図							数値解析 II(2) ◎注4		
									メカトロニクス I	メカトロニクス II(○)	
									メカトロニクス II	メカトロニクス III(○)	
									ロボット工学 I(○)	ロボット工学 II(○)	
									ロボット制御工学(○)		
									熱力学 I(4) ◎注4	熱力学 II(4) ◎注4	
									材料学 I	材料学 II(3) ◎注4	
F 創造力	①問題発見 ②解決 ③手法公開 a-h ◎							材料学 III(4) ◎注4			
								材料力学 I	材料力学 II(4) ◎注4		
							工業力学	機械力学 I(4) ◎注4			
							機構学(1) ◎注4	流体工学 I(4) ◎注4			
							流体工学 II(4) ◎注4				
							ロボット工学実験 I	ロボット工学実験 II(○)			
							ロボット工学概論及び実習	ロボット工学実習 I			
							設計製図 I	設計製図 II			
							機械工作法	設計製図 III(1) ◎注4			
							機械設計法 I	機械設計法 II(ED) ○			
								ロボット工学演習 I(○)			
								ロボット工学演習 II(○)			
								GAD-CAE演習(○)			
								応用ロボット工学(ED) ○			
								卒業研究(○)			

注1: SCP=品川キャンパス開講科目、ACP=荒川キャンパス開講科目
 注2: *1、*2から1科目以上を選択
 注3: *3、*4から1科目以上を選択
 注4: ①~⑤の科目を少なくとも1科目、合計最低6科目について修得する事
 注5: *5から1科目以上を選択